

第9回山形地方裁判所委員会議事概要

- 1 開催日時 平成19年7月27日(金)
午後1時30分から午後4時13分まで
- 2 開催場所 山形地方裁判所会議室
- 3 出席委員 會田鋭一郎, 押野浩, 菅野滋, 北野通世, 鈴木和典, 鈴木晴男, 滝澤孝臣, 松岡由美子, 三浦元, 三澤栄治, 村形修子
- 4 列席職員 櫻井一朗事務局長, 小野隆之民事首席書記官, 佐々木正人刑事首席書記官, 高橋弘人事務局次長, 阿部朋巳山形家裁総務課長(庶務事務担当者)

5 議事要旨

(1) 山形地方裁判所長あいさつ

(岡村稔前委員長が人事異動により委員を辞任しているため, 以下北野委員長代理が議事を進行した。)

(2) 新任出席委員の自己紹介

鈴木(和)委員及び滝澤委員が自己紹介した。

(3) 委員長の選出

委員長に北野委員が互選により選出された。

(以下, 北野委員長が議事を進行した。)

(4) 「第2期裁判所委員会についてのアンケート調査」について協議

地裁・家裁委員会に提言する市民の会(東京)及び司法改革大阪各界懇談会(大阪)という団体から, 調査ということで送付を受けたアンケートについて, 回答するか否かについて意見交換がなされた。その結果, 委員会としては, 回答しないとの結論となった。

(5) 裁判員制度広報用映画「裁判員～選ばれ, そして見えてきたもの～」の上映

(6) 裁判員制度広報の取組状況についての報告

山形地方裁判所の事務担当者から、現在の取組状況として、

裁判員となる国民の半数以上は就業者であり、企業の理解が不可欠であることから、地裁所長等裁判所の職員が従業員の多いところから企業訪問を行っており、既に約60社の企業を訪問した。企業訪問は、地裁支部でも実施し、100社を訪問する予定である。

双方向型の広報行事として、50人から100人規模のミニフォーラムを県内数カ所で開催する予定である。その内容は、ビデオを視聴し、6～10人の小グループで模擬評議を行うものである。

裁判員裁判用法廷を含む増築棟が現在工事中であり、本年11月末には完成予定である。12月には移転し、内覧会を実施し、平成20年1月21日から23日には、模擬選任及び模擬評議を実施する予定である。

との報告がなされた。

<主な意見等>

最近では、広報活動により、国民の意識調査でも裁判員制度に対して積極的になってきているように思われる。

広報用映画「裁判員」はよくできていると思う。インターネットでも視聴できるということなので、より多くの方に見てもらいたい。

(7) 「望ましい裁判所の在り方について」協議

山形地方裁判所事務担当者から、来庁者を対象に行ったアンケート内容及び集計結果について報告があった。

<主な意見等>

アンケート結果によれば、裁判所は意外に親切で、対応もソフトであるといういい結果だと思う。

アンケート結果では、ホームページを見たことがないという人が多いが、パソコンを所有して見えていないのか、持っていないので見

ていないのかが不明である。

裁判手続では、裁判所によって事務取扱に異なる点があるので、事務的な面での標準化を図れないかという意見があるが、各庁で検討して改善した結果であり、よい方向での不均一であるということで了解していただきたい。

(8) 委員長代理の選出

會田委員が北野委員長から委員長代理に氏名された。

(9) 次回のテーマ

裁判員制度広報の在り方について

三浦委員から提出された4月11日付け上申書記載の「望ましい裁判所の在り方(裁判所の人的・物的整備)、特に支部について」を議題とすることとし、山形地方裁判所の事務担当者から数値等のデータの報告を受け、それに基づいて意見交換を行う。

(10) 次回期日

平成20年2月22日(金)午後1時30分